

2026年5月29日

プレスリリース

表題: **STILLWAY** 小西隆詔、2026年ニュルブルクリンク24時間レースでクラス2位表彰台を獲得！

社名: STILLWAY(スティルウェイ)

代表: 小西 隆詔(こにしりゅうしょう)

STILLWAY(スティルウェイ <https://www.stillway.jp/>)の代表であり、レーシングドライバーの小西隆詔(通称コニQ)が、2026年5月14日～17日にドイツで開催された第54回ADAC RAVENOL ニュルブルクリンク24時間レースに出場し、出走159台中、総合86位、新設された『BMW M2 Racing』クラスで見事2位表彰台を獲得した。

世界一過酷と称される舞台で年齢や国境を越えて限界に挑むその姿は、若手からジェントルマン、レディースレーサーまで多くの人々に夢と希望を与え、同時に、極限のレースを共に戦い抜いた全参加者、そして熱狂的な歓声を送ってくれた観客全員への深い敬意を示す、素晴らしいレースウィークとなった。

■ 波乱の予選から、グループ3最後尾からの追い上げ

木曜日に実施された予選1回目および2回目では、小西を含むチームメイト3名が規定周回数と慣熟走行を順調に完了した。しかし、金曜日の予選3回目でZou Yunfeng(ゾウ・ユンフェン)選手のアタックにより上位グリッドを狙ったものの、コース上のコード60(速度制限)やペナルティの関係で、予選は無念の最下位となった。迎えた5月16日、小西らを乗せた870号車は、スタートグリッド・グループ3の最後方から長い24時間レースのスタートを切ることとなった。

■ ミスなき力走と、チーム力で乗り越えたアクシデント

小西は、明るい時間帯の第2スティント(シングルスティント)、深夜の第6スティント(ダブルスティント)、そして夜が明けてからの第10スティント(ダブルスティント)を担当。世界屈指の難コースにおいて、自身に与えられた全スティントをミスなし、トラブル無しで完璧に乗り切った。

レース早朝、チームメイトのステイメント中に他車との接触が発生し、ピットでのマシン修繕のために約1時間ほどのタイムロスを経験する試練に見舞われた。しかし、チーム全員が諦めることなく懸命な作業と走行を継続。その後、BMWクラスのライバル車両がアクシデントにより後退したことも重なり、残り6時間ほどの時点でクラス2位へと浮上した。

そして5月17日の午後3時、満身創痍の870号車は無事にチェッカーフラッグを受け、見事クラス2位での完走を果たした。

■ 歓喜の表彰式

レース後、Dorint Hotel(ドリント・ホテル)のカンファレンスルームにて開催された表彰パーティーでは、残念ながら体調不良で不参加となってしまったゾウ選手に代わり、小西と双子の姉妹であるジャッキー・クロイツポイントナー選手、アリシア・クロイツポイントナー選手の3人が登壇。激闘を讃え合い、笑顔で栄えあるトロフィーを受け取った。

【小西隆詔 レース後コメント】

「日本人である私を含め、非常に国際的な体制となりました。チームメイトのゾウ選手、双子の姉妹であるジャッキー選手、アリシア選手の3人、BMWの新型M2に長けたチーフエンジニアのドミニク、そしてニュル24時間の経験が豊富なAdrenalin Motorsportの全スタッフのお陰で、無事完走し、クラス2位という結果もついてきたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。

私がニュルブルクリンクに挑戦し始めて、今年で14年になります。昨年の第53回大会では、自身初となる24時間レースでのリタイヤという苦い経験を味わいました。実は今回のレースを前に、伝説の日本人ニュルマイスターであり、トヨタの開発ドライバーを務められた成瀬弘さんの慰霊碑を初めて訪問し、ご挨拶とお祈りを捧げました。そのおかげか、まるで見えない力を与えていただいたかのように順調なレースを送ることができ、この第54回大会で無事に完走を果たし、これで7回目の挑戦で6回目のニュル24時間レース完走となりました。

四度のF1チャンピオンであるマックス(フェルスタッペン)選手ですら、残念なマシントラブルに見舞われて完走がならなかったほど、やはり世界一過酷なレースです。今回のニュルも序盤からクラッシュが多発し、私のステイメントでも、明るい時間、夜間を問わず、コード60(重大なクラッシュやサーキットバリアの修繕などの区間で設けられる時速60キロの最高速度規制区間)が複数箇所が発生し続ける、まさに『グリーンヘル』なニュル24時間レースでした！

毎年なのですが、レース前の準備から、本番のレースウィークまで、様々な場面で本当にたくさんの方からご協力、ご理解を頂いてニュル24時間に参加させて頂いています。無事にレースを終えられたことに感謝して、来年以降もニュル24時間への挑戦を続けていきたいです！」

【レース結果概要】

- ・レース名 : 2026年 第54回 ADAC RAVENOL ニュルブルクリンク24時間レース
- ・参戦クラス : BMW M2 CS Racing (BMW M2 Racing G87)
- ・チーム : Adrenalin Motorsport Team Mainhattan Wheels

・カーナンバー: 870

・車両: BMW M2 Racing (G87)

・ドライバー: 小西隆詔 (日本)、Zou Yunfeng (中国)、Jacqueline Kreutzpointner (ドイツ)、Alesia Kreutzpointner (ドイツ)

・決勝結果: 総合86位 (出走159台) / クラス2位

Stillway ウェブサイト: <https://www.stillway.jp/>

コニQのXアカウント: https://x.com/koni_q_lovering

Stillway YouTubeチャンネル <https://www.youtube.com/@stillwayracingteam7202>